

| 科目名 Class | 入学年度 Admission Year | 開講学年・学期 School Year, Semester | 単位数 Credit | 必・選 | 授業担当者 Instructor | 実務 経験 |
|--|---|----------------------------------|---------------|-----|---------------------|----------|
| 社会学 I | ~218 | 1年生・前期 | 2単位 | 選択 | 平田 毅 | |
| 履修の前提条件 | 自己と、自己をとりまく他者(=社会)について、洞察しようとする姿勢をもっていること。 | | | | | |
| 授業概要 (Course Outline) | 大きく変容している現代社会を読み解く視点を手に入れるために「社会学」が培ってきた方法論に学ぶことを目的とする。社会学 I では、そのための一歩として、社会学で用いられる基本的な概念や諸領域を学ぶこと通して、その基礎力を身につける。いわば「社会学入門」の授業である。 「社会学する」うえで様々な概念(社会学用語)をしっかりと把握しようとする態度は極めて重要な事柄である。板書や授業の内容を各自ノートの作成を通して、整理し・まとめることにより、授業内容の定着化を図る。 | | | | | |
| 授業を通して修得できる力 (Competency Goals) | | | | | | |
| 知識・理解の観点 Knowledge and Understanding | 多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture | | | | | ○ |
| | 人類の文化・社会に関する知識の理解 Human Culture / Society | | | | | ○ |
| 汎用的技能の観点 Generic Skills | コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening | | | | | ○ |
| | 数量的スキル Mathematics | | | | | |
| | 情報リテラシー Information Literacy | | | | | ○ |
| | 論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking | | | | | ○ |
| | 問題解決力 Problem Solving | | | | | ○ |
| 態度・志向性の観点 Personal Qualities | 建学の精神 University Founding Philosophy | | | | | |
| | 自己管理能力 Self-management | | | | | ○ |
| | チームワーク Teamwork | | | | | ○ |
| | リーダーシップ Leadership | | | | | |
| | 倫理観 Ethical Sense | | | | | ○ |
| | 市民としての社会的責任 Social Responsibility | | | | | ○ |
| | 生涯学習力 Lifelong Learning | | | | | |
| 到達目標 (Objectives) | <ul style="list-style-type: none"> 社会学の基礎概念について、自らの生活感覚(リアル)と重ね合わせて理解し検証する力を養う。 社会学的な道具立てを用いて、現実社会の諸事象を考察することのできる力を身につける。 | | | | | |
| 事前学習の内容 | 毎授業時に課せられるミニ課題に取り組み、次回授業時の準備をする。 | | | | | |
| 事後学習の内容 | 各自の授業ノートのまとめと整理を行い、今日の学習の振り返りシートを記入する。 | | | | | |
| 能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning) | <p>基本的には対話型の授業スタイルで学習を進めていきます。授業時間中の私の問いかけには主体的に応えてください。みなさんから質問や疑問点がある場合も適宜発話してください。相互のコミュニケーションを通して学習を深められることを期待しています。</p> <p>必要に応じて、全体もしくはグループでの討論・討議を通じた授業も実施します。自ら考え、積極的に発言することで、みんなが学ぶ場を豊かにしていってください。</p> | | | | | |
| 教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour) | <p>授業終了後に声を掛けるか、もしくは研究室を訪ねてください。</p> <p>オフィスアワーの時間は、掲示案内を参照してください。</p> <p>メールアドレス: t-hirata@kiis.ac.jp</p> | | | | | |
| その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について | <p>毎授業時間に「社会学『学び』のまとめシート」を記入し、今日の学びを振り返ってもらいます。しっかり、文章で記入するようにしてください。</p> <p>また、この授業では、学びの足跡を定着させるために各人の「ノート」の作成を重視しています。それぞれが自分の「社会学のノートをつくる」ことを念頭に置いて取り組んでください。</p> <p>学習の確認: ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。</p> | | | | | |

| 授業計画 (Course Schedule) | | | |
|---|--|---------------|-------------------|
| テーマ Theme | | | |
| 第1回 | 授業ガイダンス、「社会って何？」 | | |
| 第2回 | 「社会」へのアプローチ 社会学的方法論と基礎概念 | | |
| 第3回 | 社会学の基礎概念① 「社会の構成単位としての行為・相互行為」 | | |
| 第4回 | 社会学の基礎概念② 「行為の種類と構造」 | | |
| 第5回 | 社会学の基礎概念③ 「パーソナリティ・自我・社会化」 | | |
| 第6回 | 社会学の基礎概念④ 「アイデンティティとアイデンティティクライシス」 | | |
| 第7回 | 社会学の基礎概念⑤ 「地位と役割」 | | |
| 第8回 | 社会学の基礎概念⑥ 「集団・組織」 | | |
| 第9回 | 社会学の基礎概念⑦ 「コミュニケーション」 | | |
| 第10回 | 社会学の基礎概念⑧ 「記号と言語」 | | |
| 第11回 | 社会学の基礎概念⑧ 「文化」 | | |
| 第12回 | 社会学の基礎概念⑨ 「ジェンダーとセクシュアリティ」 | | |
| 第13回 | 社会学研究の諸領域: 家族 「家族」とは何か 家族の機能 とこれからの家族 | | |
| 第14回 | 社会学研究の諸領域: 地域 「地域」「コミュニティ」の概念 と 地域 | | |
| 第15回 | 定期試験 | | |
| 第16回 | 「社会学する」ということ。社会のなかで生きるということ。(「学び」の振り返りと討議) | | |
| 教科書 (Textbooks) | | | |
| 書名 Title | 著者名 Author | 出版社 Publisher | ISBNコード ISBN Code |
| | | | |
| 参考文献 (Reference Books) | | | |
| 書名 Title | 著者名 Author | 出版社 Publisher | ISBNコード ISBN Code |
| 必要に応じて授業時に提示します。 | | | |
| 成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation) | | | |
| <p>・プレレポート ・ミニ課題 ・各自作成のノート 以上の取り組みと期末試験の成績によって、総合的に評価する。</p> | | | |